

キャリア教育の充実と基礎的・汎用的能力の育成

多古町教育研究協議会キャリア教育研究部 部長 雑賀 弘之

現代社会は急速に変化し、子供たちが将来直面する環境は予測困難で多様です。そのため、学校教育においては単なる知識の習得にとどまらず、社会で主体的に生きるための基盤となる力を育成することが求められています。こうした力は「基礎的・汎用的能力」と呼ばれ、キャリア教育の中心的な柱として位置付けられています。キャリア教育は職業理解や進路指導に限定されるものではなく、子供たちが自己を理解し、他者と協働し、課題を解決しながら将来を主体的に設計していくための総合的な教育活動です。

基礎的・汎用的能力は大きく四つの柱に整理できます。第一に「人間関係形成・社会形成能力」です。これは他者と円滑にコミュニケーションを取り、協働しながら社会に参画する力です。第二に「自己理解・自己管理能力」です。これは自分の特性を理解し、感情や行動をコントロールし、学習習慣を確立する力です。第三に「課題対応能力」です。これは問題を発見し、情報を収集し、解決策を立案・実行する力です。第四に「キャリアプランニング能力」です。これは将来像を構築し、進路を選択し、人生設計を行う力です。これら四つの能力は、単独で育成されるものではなく、互いに関連し合いながら子供の成長を支えます。そして重要なのは、小・中・高の各段階での教育が連携し、体系的に積み上げられることです。小学校で芽生えた関心や自己理解は、中学校での探究や職場体験によって深まり、高校での進路選択や社会参画へとつながります。こうした連続性が確保されることで、子供たちは自己理解を深化させ、進路選択の精度を高め、社会との接点を広げることができます。

さらに、学校段階を超えた地域や企業との連携も欠かせません。地域活動や職場体験を通じて、子供たちは実社会の課題に触れ、学校で学んだ力を実際に活用する経験を積みます。これにより、学びが単なる知識の習得にとどまらず、社会で生きる力へと結びついていきます。

キャリア教育の充実は、基礎的・汎用的能力を四つの柱として体系的に育成し、小・中・高の連携を通じて子供たちが将来にわたり主体的に生きる力を育むことに直結しています。学校では各段階の特性を踏まえつつ、連続性と一貫性を意識した取組を進めることが不可欠です。こうした取組が、子供たちの可能性を広げ、社会の中で自立し協働できる人材を育成する基盤となるのです。

キャリア教育 各学校の実践

6年「ゆめにむかって」

今年度も町内の事業所の方々の御協力のおかげで、普段学校では学ぶことのできない貴重な体験をさせていただきました。

- 優しい気持ちで、5歳児さんとたくさん遊びました。うれしかったです。（こども園）
- 図書館には、いろいろな仕事がありました。細かな作業を丁寧にがんばりました。（図書館）
- いろいろな道具を使って、皮細工を作らせてもらいました。靴作りの道具の多さに驚きました。（シューリペアセンターカナムラ）
- お饅頭一つ作ることも難しかったです。職人さんの高度な技に驚きました。（白石菓子舗）
- セブンイレブンの心得を教えてくださいました。あいさつ、レジ、揚げ物体験を頑張りました。（セブンイレブン南並木店）
- お客様の目線に立って品出しや接客をしているとわかり、ていねいに並べました。（ヤックス多古店）
- フルーツトマトの栽培は様々な工夫があることに驚きました。蒸し暑いハウスの中での作業は大変だけど、やりがいのある仕事だと思いました。（佐藤農園）
- かぼちゃハウスは開店前から忙しいことが分かりました。お店の準備を頑張りました。（ダイナミックゴルフかぼちゃハウス）

〈多古町立久賀小学校〉



【職場体験学習の様子】

事後学習では、職場体験学習で得た学びを振り返り、事業所の方々に丁寧にお礼状を書く子供たちの姿が見られ、この学習が児童にとってとても大切な体験であったことが伝わってきました。将来の自分について考える素晴らしい機会となりました。

6年「大先輩に教わろう」

〈多古町立多古第一小学校〉

生涯学習課の方々の全面協力のもと、児童アンケートから興味のある業種を中心に講師をお招きし、グループワークを行いました。講師の方々は、それぞれの仕事内容や動機、やりがい、必要な資格などを分かりやすく教えてくださいました。さらに体験時間には、講師の方々と楽しくコミュニケーションをとりながら活動し、たくさんの学びを得ることができました。（以下児童の感想）



【大工の仕事】



【ネイリストの仕事】

御協力いただいた業種
・グラフィックデザイナー ・ネイリスト
・アナウンサー ・映像プロデューサー ・プロバスケット選手
・マーシャラー ・絵本作家 ・トリマー ・大工 ・ダンサー

- まだまだ知らないことがたくさんあったので、もっと仕事について調べたいと思いました。
- お客様の希望をかなえるためにデザインを考えながら爪（ネイル）の手入れをするということを知り、相手を思う気持ちが大事だと思いました。
- 絵本の作り方を具体的に教えてもらい、自分らしいものを作りたいと思いました。
- 自分の目標を立てるときに、「〇〇になりたい」ではなく「〇〇になる！」という気持ちが大切なことが分かりました。
- プロのバスケット選手と一緒に活動して、バスケットの楽しさとプロになるための心構えを教えてくださいました。プロになるためには、強い気持ちを持つことが大切だと感じました。

6 年「職場体験」



【レジで接客している様子】

〈多古町立中村小学校〉

今年度は、町内の 8 か所の事業所で職場体験をさせていただきました。実際の仕事に触れ、働くことに関する理解や関心が深まる貴重な機会となりました。

- セブンイレブン南並木店ではいろいろな仕事を体験させていただきました。お客様のために丁寧に商品を並べたり、笑顔でお会計をしたりすることが大切だと学びました。
- シューリペアセンターカナムラでは、靴を作ったり直したりするのには時間が掛かることを知りました。余った革で小物などを作り、無駄なく材料を利用していて素晴らしいと思いました。
- らぁ麺綾海 105 では、お客様が来る前の準備を行いました。衛生面に気を付けたり、ラーメンの研究をしたりして、お客様に美味しいラーメンを作っていることが分かりました。

5・6 年「航空講話（空育）」

成田空港とグリーンポートエージェンシー、日本航空で働く方による航空講話では、成田空港の施設やパイロットの業務などについて学びました。

パイロットの方が、お客様を安全に目的地まで送り届けるために心掛けていることなどをお話ししてくださいました。成田空港の方々から、成田空港の利用人数や増築していくことなど様々なことを教えていただきました。グリーンポートエージェンシーの方からは、「相手の求めること・喜ぶことを想像して行動すること」の大切さについて教えていただきました。

- 私たちが、安全に楽しい旅行ができるのは、パイロットの方が天気の情報や飛行機の情報などいろいろな準備をしているからだと分かりました。
- 多古町に滑走路ができることにおどろきました。いつか、多古町に住みながら成田空港で働いてみたいと思いました。



【パイロットの方のお話を聞いている様子】

1 年「道セミナー」



地域の教育力を活用し、文化的教養の向上と、中学生と地域住民との交流の深化を図ることを目的として道セミナーを行っています。今年度も多古町に隣接する成田空港で働いている方々を講師としてお招きし、どのような思いで仕事をされているのか具体的なお話をいただきました。将来の進路や仕事について考えるよい機会となりました。

- 成田空港内の仕事の話は知らないことばかりで大変おもしろかったです。自分の仕事は人の役に立って喜ばれることにやりがいを感じる講師の話聞き、自分も将来このような職業につきたいと思いました。今後、学校でもこのことを大事に生活したいと思いました。

1 年「人セミナー」

多古町の民生委員・主任児童委員の方々をゲストとしてお招きし、中学生の将来の夢に対する講話をいただく人セミナーを開催しました。生徒一人ひとりの夢や希望を発表した後、講師から、働くことの意義や人生観についての講話をいただきました。夢に向かって努力を重ねる大切さについて考える良い機会となりました。

- 講師の話から将来のことを考え、何事にも努力する姿勢が大切であることを学びました。これから、自分の夢の実現に向かって頑張っていこうと思いました。



【職場体験学習の様子】

2 年「職場体験学習」

11月12日、13日、14日の3日間、職場体験学習を実施しました。計画に際しては生涯学習課から全面的に支援をいただき、成田空港を含め町内の多くの事業所で仕事の体験をすることができました。生徒が「職業」「勤労」「将来」について考える良いきっかけになりました。

- 私は古屋乳業で果汁 100%ジュースや特濃乳の製造体験をしました。体験を通して、わからないことをそのままにしておくのではなく、きちんとわかる人に聞いて解決することが大切なのだというのを改めて実感しました。今後の生活に生かしたいと思いました。
- 私は成田空港で搭乗手続き業務体験やオペレーション業務見学をしました。3日間、違う体験をさせていただき、空港は見えないところでたくさんの方が関わっていることがわかりました。困っている観光客にCAやグランドスタッフが親切に対応している姿を見て、私も困っている人を見かけたら助けられる人になりたいと思いました。

多古町キャリア教育事業

《英語交流：各小学校》



＜中村小学校＞

- 多古高校の高校生が来校し、外国語の授業をしました。自己紹介を行ったり、国旗クイズをしたりして、児童は楽しく英語学習に取り組むことができました。

《花交流：各校で年毎にローテーション》



＜久賀小学校＞

- 3・4年生が多古高校の高校生に教わりながら、花交流を行いました。花の種をまいたり、育苗ポットに移し替えたりしました。多古高校のお兄さんやお姉さんからよく教えていただき、貴重な体験をすることができました。